

エフピコアリーナふくやま落成記念
第74回全日本学生体操競技選手権大会
要 項(案)

主催 全日本学生体操連盟

主管 全日本学生体操連盟
広島県体操協会

後援 (予定)
(公財) 日本体操協会
福山市教育委員会

協賛 (予定)
セノー株式会社
株式会社 ササキスポーツ
京王観光株式会社
ミズノ株式会社
アトムスポーツ
有限会社アイシス

1. 大会日程

令和2年10月19日(月) セッティング・2部校監督会議・2部校本会場練習
20日(火) 2部校本会場練習、審判会議、開会式
2部校選手権(団体・個人・種目別)
21日(水) 2部校選手権(団体・個人・種目別)
1部校監督会議・1部校本会場練習
22日(木) 1部校本会場練習・1部校選手権(団体・個人・種目別)
23日(金) 1部校選手権(団体・個人・種目別)・カッティング・閉会式

2. 会場

会 場 エフピコアリーナふくやま(福山市総合体育館)
所 在 地 〒720-0823
広島県福山市千代田町1-1-2
電話番号 084-981-3050

3. 参加資格

- (1) (公財)日本体操協会の会員登録システムから、各大学の所在地の都道府県体操協会に令和2年度「所属団体・選手登録」を済ませ、その後、全日本学生体操連盟に「所属団体・選手加盟（連盟登録）」を済ませた者。全日本学生体操連盟HPの「資料ダウンロード」に掲載されている「令和2年度 加盟校連絡先および役員名簿」を提出している大学。
- (2) 全日本学生体操連盟への「選手加盟（連盟登録）」が4回以下で、全日本学生体操連盟に所属する大学（短期大学、専修学校、高等専門学校を含む）の者。

(3) 1部校枠

令和2年度の1部校。

個人の出場枠は、令和元年度の全日本学生体操競技選手権大会の団体総合選手権の成績により決定する

(以下、学生体操競技選手権大会は「インカレ」と、チーム出場大学に割り当てられた個人枠での出場選手を「チーム個人選手」と記す)。

<男子>

- ・チーム 12校
- 令和元年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より
- ・チーム個人選手 42名
 - 1～3位校 各5名
 - 4～6位校 各4名
 - 7～9位校 各3名
 - 10～12位校 各2名
- (含1部昇格校)

<女子>

- ・チーム 10校
- 令和元年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より
- ・チーム個人選手 30名
 - 1～3位校 各4名
 - 4～7位校 各3名
 - 8～10位校 各2名
- (含1部昇格校)

(4) 2部校推薦枠

①推薦チーム1

令和2年度の2部校（含2部降格校）で、令和元年度全日本インカレに出場したチーム

<男子>

- ・チーム 12校
 - ・チーム個人選手 18名（令和元年度の全日本インカレ団体総合選手権の成績より）
- 2部降格2校と3～6位校 各2名、7～12位校 各1名

<女子>

- ・チーム 8校
 - ・チーム個人選手 12名（令和元年度の全日本インカレ団体総合選手権の成績より）
- 2部降格2校と3～4位校 各2名、5～8位校 各1名

②推薦チーム2

令和元年度の全日本インカレに出場できなかった各予選会（東日本・西日本インカレ）上位2チーム

- <男子> ・チーム 4校（東日本・西日本各2チーム）

<女子> ・チーム 4校（東日本・西日本各2チーム）

③推薦個人1（令和元年度全日本インカレ出場選手）

上記①②の大学に所属しない令和元年度的全日本インカレに出場した予選通過個人選手

<男子> ・該当者 8名

<女子> ・該当者 3名

④推薦個人2（特別個人推薦選手）

上記①②の大学に所属せず、③以外の選手で、以下の条件に当てはまる選手

<男子> 個人総合得点65点以上の選手 ____名

<女子> 個人総合得点40点以上の選手 ____名

※推薦・選考方法については、別途、通達する（8月7日までに通達予定）。

※④と下記⑤を合わせたの参加人数枠は、男子22名、女子15名とする。

⑤推薦個人3（令和元年度予選会上位選手）

上記①②の大学に所属せず、③④以外の選手で、令和元年度に開催された以下の大会の個人総合得点を並べた上位の選手

・全日本インカレ各予選会（東日本・西日本インカレ）

・東日本・西日本インカレの予選会（各支部大会）

<男子> 個人総合得点上位の選手 ____名

<女子> 個人総合得点上位の選手 ____名

※東日本グループ選手権での得点については、適用ルールを考慮して序列をつける。

(5) 出場確認・出場辞退等について

参加予定校・予定個人選手に対して、8月中に参加の可否を確認する。

・チーム出場大学より、チーム個人選手枠の返上があってもその補充は行わない。

・(4)の④⑤については、8月中に参加者を決定し、その後の補充は行わない。

4. 該当校及び参加人数

(1) チーム編成について

・チーム編成は各大学単位とし、各校1チームとする。

・1・2部校男女とも、1チームは最大6名（最小5名）とする。

(2) 1部校の該当校及び参加人数

・1部校男子チーム 12校

・1部校男子個人 42名（令和元年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より）

1. 日本体育大学 5名 7. 福岡大学 3名

2. 順天堂大学 5名 8. 九州共立大学 3名

3. 仙台大学 5名 9. 日本大学 3名

4. 筑波大学 4名 10. 慶應義塾大学 2名

- | | | | |
|-----------|----|-----------|------------|
| 5. 鹿屋体育大学 | 4名 | 1 1. 駒澤大学 | 2名 (1部昇格校) |
| 6. 早稲田大学 | 4名 | 1 2. 東海大学 | 2名 (1部昇格校) |

- ・ 1部校女子チーム 10校
- ・ 1部校女子個人 30名 (令和元年度全日本インカレ団体総合選手権の成績より)

| | | | |
|------------|----|-------------|------------|
| 1. 日本体育大学 | 4名 | 6. 日本女子体育大学 | 3名 |
| 2. 武庫川女子大学 | 4名 | 7. 仙台大学 | 3名 |
| 3. 筑波大学 | 4名 | 8. 東京女子体育大学 | 2名 |
| 4. 国士館大学 | 3名 | 9. 中京大学 | 2名 (1部昇格校) |
| 5. 順天堂大学 | 3名 | 1 0. 東海大学 | 2名 (1部昇格校) |

(2) 2部校の該当校及び参加人数

①推薦チーム1

- ・ 2部校男子チーム 12校
- ・ 2部校男子チーム個人選手18名 (令和元年の全日本インカレ団体総合選手権成績より)

| | | | |
|-----------|----|-----------|----|
| 1. 静岡産業大学 | 2名 | 7. 東海大学九州 | 1名 |
| 2. 大阪体育大学 | 2名 | 8. 中京大学 | 1名 |
| 3. 新潟経営大学 | 2名 | 9. 関西大学 | 1名 |
| 4. 国士館大学 | 2名 | 10. 天理大学 | 1名 |
| 5. 明治大学 | 2名 | 11. 富山大学 | 1名 |
| 6. 国際武道大学 | 2名 | 12. 北翔大学 | 1名 |
- ・ 2部校女子チーム 8校
- ・ 2部校女子チーム個人選手 12名 (令和元年の全日本インカレ団体総合選手権成績より)

| | | | |
|-----------|----|----------|----|
| 1. 大阪体育大学 | 2名 | 5. 駒澤大学 | 1名 |
| 2. 日本大学 | 2名 | 6. 北翔大学 | 1名 |
| 3. 静岡産業大学 | 2名 | 7. 至学館大学 | 1名 |
| 4. 慶應義塾大学 | 2名 | 8. 福岡大学 | 1名 |

②推薦チーム2

- ・ 2部校男子チーム4校

| | |
|-------------|-------------|
| 東インカレ上位2チーム | 西インカレ上位2チーム |
| 1. 法政大学 | 1. 至学館大学 |
| 2. 青森大学 | 2. 大阪産業大学 |
- ・ 2部校女子チーム4校

| | |
|-------------|-------------|
| 東インカレ上位2チーム | 西インカレ上位2チーム |
| 1. 国際武道大学 | 1. 大阪産業大学 |
| 2. 明治大学 | 2. 九州共立大学 |

③推薦個人1

・令和元年度全日本インカレ出場選手 男子 8名

1. 永野 天空 (立教大学)
2. 上平 和人 (新潟大学)
3. 小川 音 (埼玉大学)
4. 井関 順也 (明星大学)
5. 永野 旭人 (同志社大学)
6. 渡辺 陽大 (新潟大学)
7. 橋本 俊弥 (帯広畜産大学)
8. 千葉 叶 (専修大学)

・令和元年度全日本インカレ出場選手 女子 3名

1. 内山 由綺 (早稲田大学)
2. 山内 純玲 (首都大学東京)
3. 松浦 里菜 (環太平洋大学)

④推薦個人2 (特別個人推薦選手)

(未定：8月下旬までに決定)

⑤推薦個人3 (令和元年度予選会上位選手)

(未定：8月下旬までに決定)

5. 種目別選手権 決勝 について

本大会では実施しない。

6. 補欠について

- (1) 各チームの補欠人数は定めず、補欠登録も行わない(7.(2)(3)(4))。
- (2) 2部校の推薦個人選手は、個人としての参加資格を有しているため、補欠は認めない。

7. 選手変更・棄権について

- (1) 選手変更・棄権の申請は、監督会議開始前までに所定の用紙(メンバーチェンジ・プログラム訂正用紙)で受付に提出すること。ただし、監督会議後に特別な理由で出場不能となった場合、大会本部への申請により変更を認める場合がある。
- (2) チーム出場選手、および、チーム個人選手の変更は、全日本学生体操連盟に加盟した選手であれば認める。
- (3) 競技部報・プログラムに掲載される出場選手は、ID申請用紙に記載された選手名のみとなる。
- (4) 選手のゼッケンについては、チーム6人分の枠、および、チーム個人選手枠のゼッケン番号とし、変更した選手はその枠に与えられたゼッケン番号をつけるものとする。

8. 競技方法について

(1) 適用規則

- ・ FIG 競技規則に準ずる。

<男子>

2017年版採点規則、最新版内規及び体操競技情報最新号を適用する。

<女子>

2017年版採点規則、及び体操競技情報最新号を適用する。

※新技申請については、**各監督会議前まで**に所定の用紙にて受付に提出すること。

(2) 順位の決定

- ・ 団体総合選手権：各種目上位5名の得点の総合点で競う。
 - ・ 個人総合選手権：全種目の総合点で競う。
 - ・ 種目別選手権：各種目の得点で競う。**男女ともに跳馬は1試技の得点とする。**を得点とする。
- ※ 0点は棄権ではなく得点として扱う。

(3) 班編成

- ・ 1部校：令和元年度の全日本インカレ団体総合選手権の成績により決定する。
- ・ 2部校：**令和元年度の全日本インカレ、東・西インカレの成績等により決定する。**

(4) 開始種目

- ・ 開始種目は、**令和元年度の大会成績を元に決定する。**

(5) 器具について

男女共、(公財)日本体操協会認定器具を使用する(セノー社製)。

9. 表彰

<1部校>

- | | |
|---------------|---|
| (1) 団体総合選手権の部 | 男子優勝校・・・高松宮殿下記念杯 女子優勝校・・・高松宮妃記念杯 優勝旗、優勝杯、メダル1～3位、賞状1～8位 |
| (2) 個人総合選手権の部 | 楯1～3位、賞状1～8位 |
| (3) 種目別選手権の部 | メダル1～3位、賞状1～8位 |

<2部校>

- | | |
|---------------|--------------------|
| (1) 団体総合選手権の部 | 優勝杯、メダル1～3位、賞状1～8位 |
| (2) 個人総合選手権の部 | 楯1～3位、賞状1～8位 |
| (3) 種目別選手権の部 | メダル1～3位、賞状1～8位 |

10. 帯同審判員派遣について(検討中：1部校と2部校の審判員を分ける場合)

- (1) チーム参加する大学は、下記の1種審判有資格者の帯同審判員を派遣しなければならない

い

<男子>

| | |
|------------------|----|
| 1部校 | 2名 |
| 2部校推薦チーム1の1～8位校 | 2名 |
| 2部校推薦チーム1の9～12位校 | 1名 |
| 2部校推薦チーム2の4校 | 1名 |

(可能な限り、カテゴリー2以上の審判員の派遣をお願い致します。)

<女子>

| | |
|-----------------|----|
| 1部校1～6位校 | 2名 |
| 1部校7～10位校 | 1名 |
| 2部校推薦チーム1の1～4位校 | 2名 |
| 2部校推薦チーム1の5～8位校 | 1名 |
| 2部校推薦チーム2の4校 | 1名 |

- (2) 帯同審判員に対する費用は、派遣する大学が全て負担しなければならない。また、保険料、救護費について、派遣する人数分の費用(1名につき合計900円)を支払うこと。
- (3) 学生を帯同審判員として派遣することもできる。
- (4) 審判員を派遣できない大学は40,900円(検討中)(保険料、救護費900円込み)をもって大会本部に依頼すること。
- (5) (公財)日本体操協会委員を派遣する大学は、予め本部の承認を得なければならない。
- (6) 帯同審判員はそれぞれ、1部校または2部校の審判業務を行う。
- (7) 各大学指導者(部長、監督、コーチ)を帯同審判員として派遣する場合は、「審判員・指導者兼任願い」を大会申し込み1次締め切りの書類と合わせて提出しなければならない。審判員となる指導者は、審判会議以降の大会期間中は所属選手の練習を指導することはできない。
- (8) 審判編制は、その全てを大会本部に一任すること。

1 1. 補助役員について(検討中:1部校と2部校の補助役員を分ける場合)

- (1) 男女共、本大会にチーム出場する大学(1部校・2部校)は2名の補助役員を派遣しなければならない。なお、その補助役員に対する費用は全てその大学が負担しなければならない。
- (2) 補助役員を派遣できない大学は、1名につき15,900円(検討中)(保険料、救護費900円込み)をもって大会本部に依頼すること。
- (3) 派遣された補助役員は、それぞれ部別の競技運営に必要な業務を担当する。
(2部校派遣補助役員:セッティングから2部校競技終了まで)
(1部校派遣補助役員:1部校本会場練習からカットイングまで)

1 2. 部別昇降について

今年度は、1部2部の入替えは行わない。

13. その他

- (1) 競技区域に入れる者は全ての競技において、大会役員、審判員、補助役員、選手、補欠、チームリーダー、コーチ（1組につき、個人4名以上は2名まで、3名以下は1名）、部長、監督、主務に限る。ただし補欠は監督会議以降アリーナ内には入ることは出来ない。また部長、監督、主務は競技中の競技区域(部報参照)に入ることは出来ない。なお、音楽系のID保持者は音楽席のみで活動出来る。
- 個人で編成される班（個人総合・種目別選手権）でのコーチの人数は、各種目（組）につき、一大学4名以上は2名のコーチ、3名以下は1名のコーチとする。ただし、女子の一大学3名以下の組に限り、段違い平行棒コーチを1名追加できるものとする。
- ※ ID保持者であってもみだりに競技区域に立ち入ることを禁止する。
- (2) トレーナー申請を希望する大学は所定の申請書を、本大会申し込み1次締め切りまでに提出すること。
- なお、トレーナーは指定の場所のみで活動すること。
- ※ トレーナーの申請人数は男女それぞれ各1名までとする。
- ※ メンタルトレーナーもこのトレーナーと同様の扱いとする。
- (3) 音楽の再生機器は各大学で準備すること。
- (4) セッティングは2部校の参加校で行う。カッティングは1部校の参加校で行う。参加できない場合は、所定の用紙に理由を書いて大会申し込み1次締め切りの書類と合わせて提出し、許可を得ること。
- (5) 会場の冷暖房については気温状況に応じて使用することとする。なお、使用する場合には監督会議で報告し、実費を徴収することがある。
- (6) 大会中の演技の撮影には、事前の撮影許可を必要とする。撮影を希望する大学は、所定の申請書を大会申し込み最終締め切りまでに提出すること。
- (7) 開会式は、2部校①班の選手のみ参加とする。閉会式は1部校の選手のみ参加とする。
- (8) 応援・観客の動員に関しては、新型コロナウイルス感染防止を考慮した適正な範囲に留める（検討中）。

14. 参加申し込みについて

(1) 参加費

| | |
|--------------------------------|-------------|
| 1チーム | 60,000円 |
| 個人（1名につき） | 12,000円 |
| 保険料（損害賠償含）（選手、補助役員、帯同審判員1名につき） | 400円 |
| 救護費（選手、補助役員、帯同審判員1名につき） | 500円 |
| 帯同審判委員依頼費（1名につき） | 40,900円（予定） |
| 補助役員依頼費（1名につき） | 15,900円（予定） |

- (2) HP上にある下記の用紙に必要事項を記入の上、大会本部に郵送またはメール添付で

申し込むこと。

- ・参加申込用紙
- ・ID申請用紙
- ・国内旅行傷害保険申請用紙
- ・撮影申請用紙
- ・プログラム用コメント用紙
- (・宿泊証明書) (未定)
- (・所属大学の参加承諾書) (未定)

(3) 締め切り期日

1次締め切り

(参加申込用紙) 9月 7日 (月) 18時必着

最終締め切り

(ID申請用紙、国内旅行傷害保険申請用紙、
撮影申請用紙、プログラム用コメント用紙) 9月18日 (金) 18時必着

HP 部報掲載予定日 9月28日 (月)

期日を過ぎたものは一切受け付けない。

(4) 参加費は、本部所定の銀行へ1次締め切りまでに必ず、大学名(男女別)で振り込むこと。

振込例：女子→ジョガクレンダイガク 男子→ダンガクレンダイガク

(5) 参加費振込先

三井住友銀行 渋谷支店 店番号654

普通口座番号 9167060

全日本学生体操競技選手権大会

担当者：小賀坂 楓

(6) 締め切り期日以降の申し込みは受け付けない。締め切り期日以降の欠場は認めるが原則として参加費は返金しないが、特別な事情がある場合に限り、相談に応じる。

(7) 申し込み・問い合わせ先

〒160-0013

東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 8階 (公財) 日本体操協会気付

全日本学生体操連盟 第74回体操競技全日本インカレ大会宛

FAX 03-6455-4038

E-mail gymgakurenn@yahoo.co.jp

HP <http://gymgakurenn.noor.jp>

担当者 (男子) 天野 仁平 (女子) 羽山 千咲

同点順位について

①表彰について

| | |
|------------------------------|----------------|
| 団体総合選手権 個人総合選手権 種目別選手権 | 同点と同順位として表彰する。 |
|------------------------------|----------------|

②通過及び部別昇降に関する順位付けについて

| | |
|---------------|---|
| 団 体 選 手 権 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 全種目（男子6種目、女子4種目）のチーム得点の中で、最低点の種目得点を除いた残りの種目（男子5種目、女子3種目）の得点の合計が高いチーム。 ・ それでも同点の場合は2種目の最低得点を除く残りの合計の高いチーム。（さらに同点の際は、男子5種目、女子3種目まで最低点を除き、残りの種目の合計の高いチーム） ・ すべての種目の得点と同点の場合は、前年度の競技成績の高いチームを上位とする。 |
| 個 人 総 合 選 手 権 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 団体と同じ方法を用いて、残りの種目合計の高い者。 ・ すべての種目の得点と同点の場合は、Eスコアの合計点の高い者。それでも同点の場合はDスコアの合計点の高い者。 |
| 種 目 別 選 手 権 | <ul style="list-style-type: none"> ・ Eスコアの高い者。 ・ それでも同点の場合は個人総合順位の高い者。 |

※この方法は、学生連盟が主催とする大会のみ適用とする。